

社会資本総合整備計画に関する 事後評価について



令和4年度
水と緑の部

大和田ポンプ場 地上より撮影 |

社会資本整備総合交付金 制度概要

H22～
社会資本
整備総合
交付金

成長力強化や地域活性化
等につながる事業



- ・道路事業
- ・港湾事業
- ・河川事業
- ・下水道事業
- ・
- ・

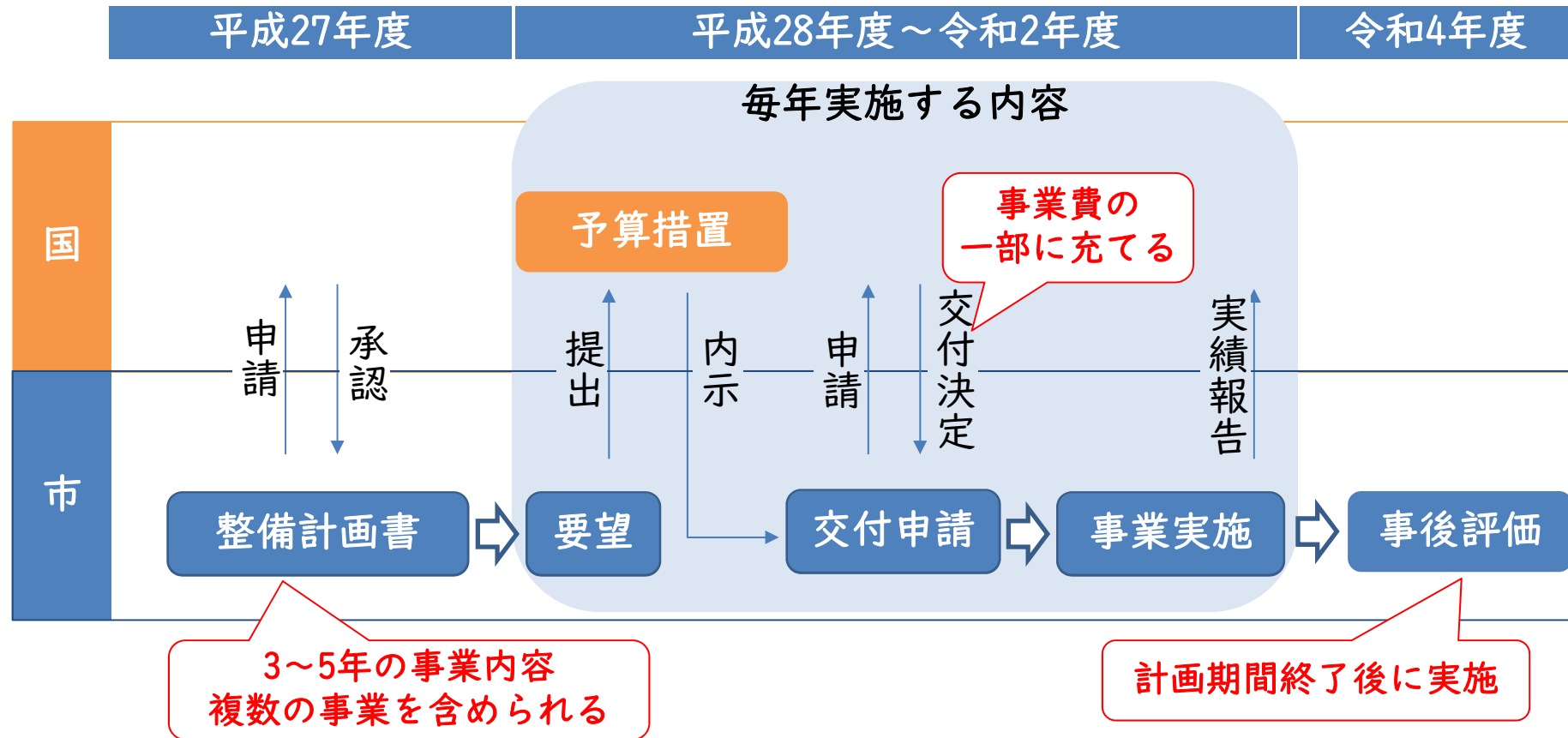
H24～
防災・安全
交付金

地震・津波や頻発する風水
害に対する事前防災・減災
対策を支援



- ・道路事業
- ・港湾事業
- ・河川事業
- ・下水道事業
- ・
- ・

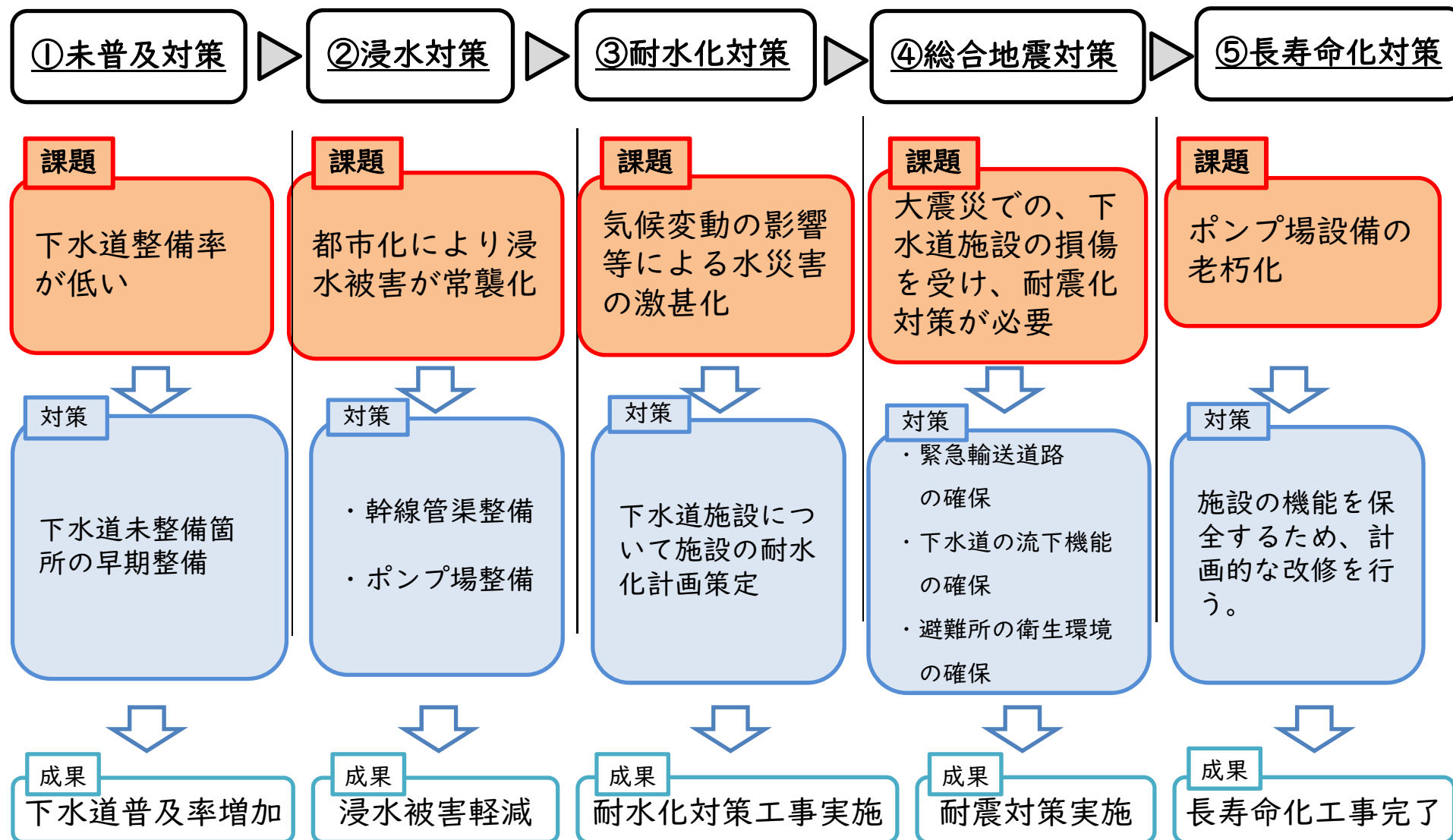
社会資本整備総合交付金制度について



事後評価の要点

- ・ 5年度毎（計画期間終了後）に評価実施
- ・ 事業種別ごとの進捗状況等について評価
- ・ 評価の透明性、客観性、公正さを確保

社会資本整備総合交付金を活用した各事業の概要



【①未普及対策事業（污水事業）】

課題

本市の平成27年度末の下水道普及率は、住民基本台帳人口ベースで71.9%となっており、全国平均（77.8%）や近隣市と比較しても低い状況にあったことから、効率的な下水道整備が必要となっていた。

対策

市街化区域で下水道が未整備の状況にある地域から早期整備を図りつつ、事業効果を勘案した効率的な整備拡張を目指す。

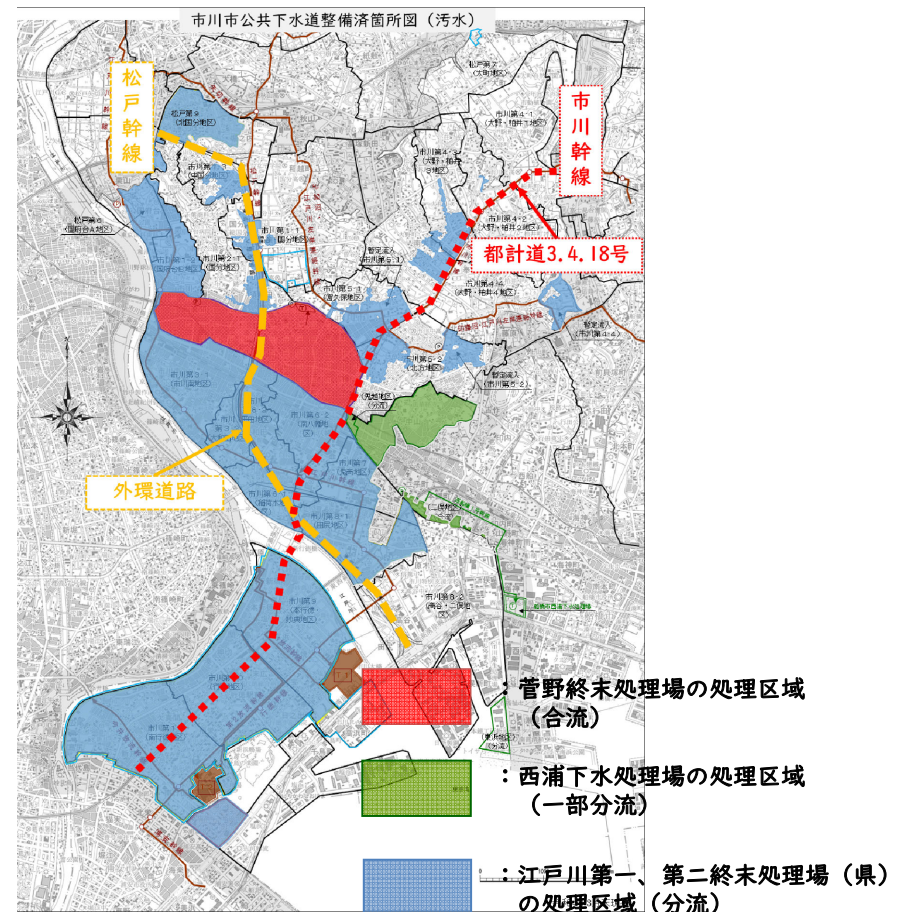
定量的指標

下水道処理人口普及率
(下水道処理人口/行政区域人口)

目標値：75.1% (処理人口 360,000人)

実績値：75.9% (処理人口 373,500人)

※H28年度～R2年度実施量



【②浸水対策事業（雨水事業）】

課題

都市化の進展により雨水が浸透しづらくなったため、河川や市街地内の雨水管に短時間の降雨で大量の雨水が流れ込むようになり、浸水被害が常襲化していた。この問題に対しての抜本的対策が必要となっていた。

対策

外環道路により排水区が分断された地区のうち、浸水被害の多い市川南地区、高谷・田尻地区を整備優先地区に位置付け、排水施設の整備を行う。

- ・市川南、大和田ポンプ場整備
- ・雨水管渠整備

定量的指標

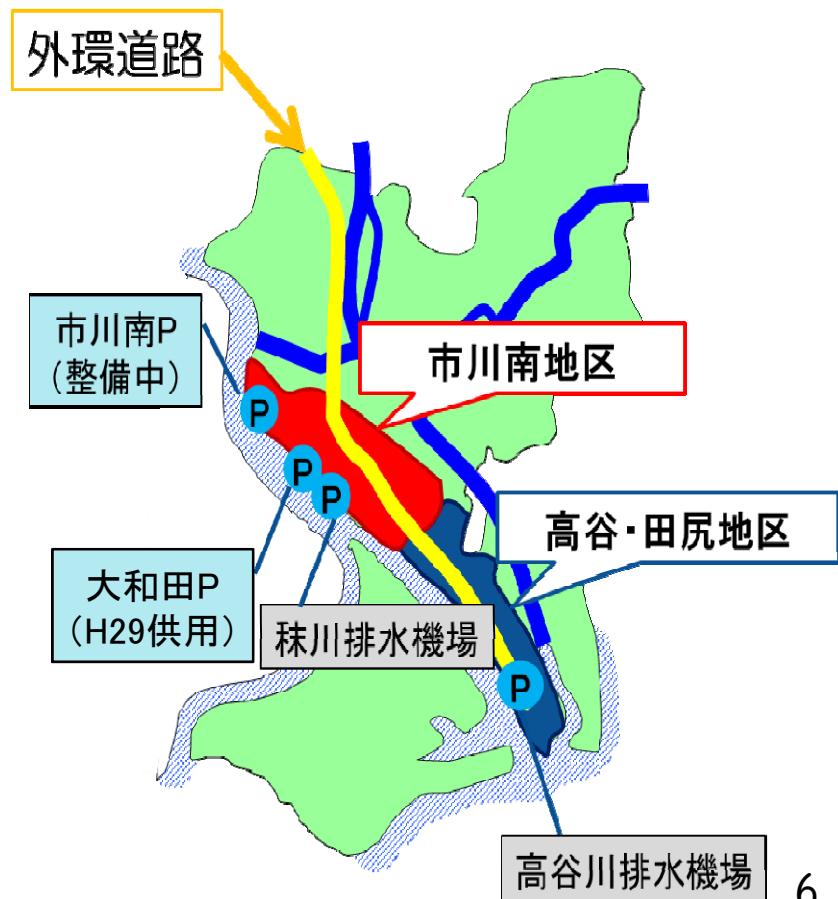
整備優先区域における雨水管渠の整備率
(整備完了面積/整備すべき面積 728ha)

目標値：15% (110ha)

実績値：14.9% (109ha整備済)

※H28年度～R2年度実施量

外環道路



【③施設耐水化事業】

課題

近年の気候変動の影響等による頻発する大雨により、他の自治体で下水道施設自体が被災したことを契機に、事前対策の一環として『耐水化計画』の策定が必要となった。

対策

市川市の雨水（合流含む）事業に係る下水道施設について施設の耐水化計画を取りまとめ、今後の耐水化対策工事を効率的に行う。

定量的指標

下水道施設の耐水化計画策定率
(計画策定済み施設数/下水道施設数)

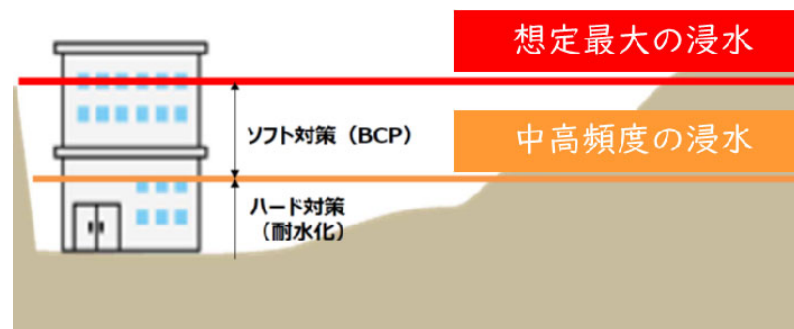
目標値：100%

実績値：100%

※R2年度策定



対策の範囲

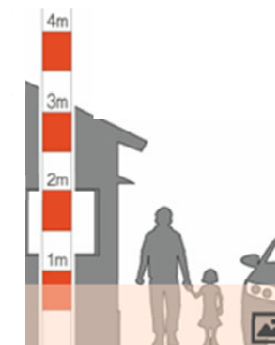


実施方法

1.0m～3.0m : 防水扉

0.4m～1.0m : 止水版

0.4m未満 : 土のう



※その他、開口部閉塞、マンホール防水化等実施

【④下水道総合地震対策事業】

課題

阪神淡路大震災や東日本大震災での、下水道施設の損傷や日常生活の衛生環境への影響を受け、下水道総合地震対策事業による整備が必要となった。

対策

- ・ 緊急輸送道路の確保
- ・ 防災拠点を結ぶ下水道の流下機能の確保
- ・ 避難所の衛生環境の確保

定量的指標

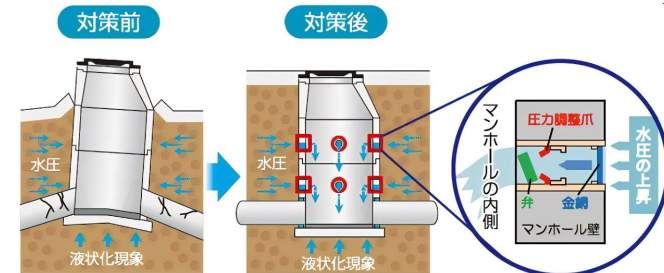
下水道管路耐震化工事実施率
(耐震化工事実施予定延長/管路の耐震化工事予定延長)

目標値：74% (16.4km)

実績値：91% (20.2km)

※H28年度～R2年度実施量

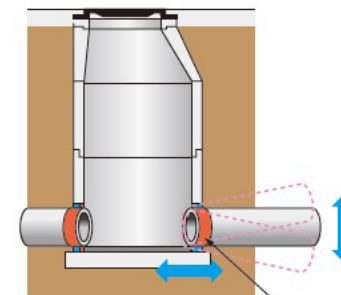
浮上防止イメージ図



東京都下水道局より引用

マンホールの浮上被害事例
(東日本大震災・平成23年、浦安市)

可とう化イメージ図



東京都下水道局より引用

地震の揺れを吸収する
ゴムブロックなどを設置

【⑤下水道長寿命化事業】

課題

単独公共下水道菅野処理区は昭和47年4月より供用開始され、供用後50年が経過したポンプ場設備の老朽化が著しく、機能停止による甚大な影響が懸念される。

対策

施設の機能を保全するため、計画的な改修を行う。

菅野ポンプ場：No.1～4雨水ポンプエンジン、
No.3,4汚水ポンプ

真間ポンプ場：No.1～3雨水ポンプエンジン、
非常用発電機

定量的指標

長寿命化工事実施率

(実施済機器数) / (長寿命化工事対象機器数)

目標値：100% (10機)

実績値：100% (10機)

※H28年度～H31年度実施量

H26年度からの継続事業



市川市真間ポンプ場非常用発電設備
長寿命化改修工事（完成写真）

事業効果及び目標値の達成状況

定量的指標 の達成状況	各定量的指標		H28年当初	R2年度
	①未普及対策事業 下水道処理人口普及率	目標値		71.3%
実績値			71.9%	75.9%
②浸水対策事業 整備優先区域 における雨水管渠の整備率	目標値		9.5%	15%
	実績値		8.3%	14.9%
③施設耐水化事業 下水道施設の 耐水化計画策定率	目標値		0%	100%
	実績値		—	100%
④下水道総合地震対策事業 下水道管路 耐震化工事実施率	目標値		0%	74%
	実績値		—	91%
⑤長寿命化対策事業 長寿命化工事実施率	目標値		0%	100%
	実績値		0%	100%